

事務事業名		千石船気仙丸利用事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																								
政策体系	政策名	0 1 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間																									
	施策名	0 3 にぎわいあふれる商業・観光の推進		区分																									
	基本事業名	0 2 滞在型観光の推進		単年度繰返																									
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入																									
所属	部課名	商工港湾部観光交流推進室		【開始年度】																									
	課長名	古内 弘一		令和2 年度～																									
	係名	-		事務事業区分																									
	担当者	新沼 博樹	電話 0192-27-3111 内線 113	D 補助金等																									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																									
<p>東日本大震災の津波に無傷で耐えた奇跡の船、千石船「気仙丸」を歴史的価値のある地域の宝として誰にでも見える形で陸上展示する。</p> <p>陸上展示後は、保存管理及び利活用の推進を図り、千石船の建造に係る技術の伝承、記録並びに観光振興に努めることにより、地域の活性化に寄与することを目的として、次の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 千石船「気仙丸」の保存、維持管理 千石船の建造や復元に係る技術と技能の伝承、記録 千石船「気仙丸」を活用したにぎわいの創出、観光振興 その他、千石船「気仙丸」の管理運営に必要な事項 <p>事業費は、千石船「気仙丸」利活用推進協議会(事務局:大船渡商工会議所)に対して負担金を支出する。 (令和2年度及び令和3年度は、千石船「気仙丸」の所有者である大船渡商工会議所に対して補助金を交付)</p>				<table border="1"> <tr><td rowspan="10">総投入量 (千円)</td><td rowspan="5">事業費</td><td>財源内訳</td><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>事業費計(A)</td><td>0</td></tr> <tr><td rowspan="5">人件費</td><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td>人件費計(B)</td><td>0</td></tr> <tr><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>		総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金																										
		都道府県支出金																											
		地方債																											
		その他																											
		一般財源																											
	事業費計(A)	0																											
	人件費	正規職員従事人数																											
		延べ業務時間																											
		人件費計(B)	0																										
		トータルコスト(A)+(B)	0																										

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
<p>前年度実績(前年度に行った主な活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ふれあい事業(船内見学会・パネル展・バーチャル気仙丸体験の実施、ポストカードの販売等)・技術の伝承、記録事業(気仙丸つとセミナーの開催)・周知PR事業(客船入港時の船内見学会の実施、視察受入)・他団体との連携事業(おおふなどの灯イルミネーション、インドネシア民俗芸能との交流等) <p>今年度計画(今年度に計画している主な活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ふれあい事業(船内見学会・パネル展・建造時の道具展示会の実施、ポストカードの販売等)・技術の伝承、記録事業(建造技術に関する記録動画の作成)・周知PR事業(客船入港時の船内見学会の実施、視察受入等)・他団体との連携事業(おおふなどの灯、セミナーの開催等) 	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 交付件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 交付件数	件	イ		ウ	
名称	単位								
ア 交付件数	件								
イ									
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
<ul style="list-style-type: none"> 大船渡商工会議所 千石船「気仙丸」利活用推進協議会(事務局:大船渡商工会議所) 市民及び観光客 	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ 市の人口</td><td>人</td></tr> <tr><td>キ 観光入込客数(暦年)</td><td>千人</td></tr> <tr><td>ク</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	カ 市の人口	人	キ 観光入込客数(暦年)	千人	ク	
名称	単位								
カ 市の人口	人								
キ 観光入込客数(暦年)	千人								
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
<ul style="list-style-type: none"> 千石船「気仙丸」を陸上展示する。 千石船「気仙丸」を適切に保存管理する。 市民及び観光客が千石船「気仙丸」を見学し、気仙の船大工による卓越した気仙丸の建造技術等に触れ合う。 	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ 利活用事業実施回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>シ</td><td></td></tr> <tr><td>ス</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	サ 利活用事業実施回数	回	シ		ス	
名称	単位								
サ 利活用事業実施回数	回								
シ									
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
<ul style="list-style-type: none"> 千石船「気仙丸」の魅力がPRされ、認知度が高まる。 大船渡市を訪れる。 									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)
			単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	53,000	17,000	0	1,200	1,200	1,200
		一般財源	千円	0	1,200	1,200	0	0	0
	事業費計(A)			千円	53,000	18,200	1,200	1,200	1,200
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	160	100	60	60	60	60
		人件費計(B)	千円	640	400	240	240	240	240
		トータルコスト(A)+(B)			千円	53,640	18,600	1,440	1,440
⑤活動指標									
	ア	件		1	1	1	1	1	
	イ								
	ウ								
⑥対象指標									
	カ	人		34,796	34,224	33,238	32,476	32,476	32,476
	キ	千人		430	484	584	638	797	817
	ク								
⑦成果指標									
	サ	回		0	6	8	9	10	10
	シ								
	ス								

事務事業ID	1824	事務事業名	千石船気仙丸利活用事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	千石船「気仙丸」は、平成3年に建造され、ドラマや映画の撮影、三陸・大船渡夏まつりでの湾内巡航等に活用されてきた。しかし約30年が経過し、老朽化による劣化が進行していることから、東日本大震災の津波に耐えた奇跡の船「気仙丸」を修理して歴史的価値のある地域の宝として残し、気仙の船大工による卓越した建造技術・技能と文化を後世に伝えるため事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	令和2年8月、千石船「気仙丸」の最後の湾内えい航の様子(係留先の蛸ノ浦漁港から工事場所まで)が新聞やテレビで紹介され、その後の修理工事着手の状況のマスコミ報道により、市内外の多くの人に認知されている。 気仙丸の本体修理及び長寿命化のための液体ガラス塗装作業は令和2年度に概ね完了し、令和3年10月から大船渡駅周辺地区で陸上展示している。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	・平成28年9月、千石船「気仙丸」利活用検討委員会から市に対し、ミュージアムの建設による気仙丸の復活と利活用を骨子とする要望書が提出された。 ・陸上展示後は、屋根を設置した方が良く、展示場所を移設すべき、展示の仕方を工夫し周辺のにぎわい創出に努めてほしい、といった意見や要望が市議会等から寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	▽ 理由・内容 にぎわいあふれる観光の推進のため、千石船「気仙丸」を陸上展示して市内外の多くの人に見学してもらうことは、観光客の誘致と観光宣伝の充実に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	▽ 理由・内容 千石船「気仙丸」を歴史的価値のある地域の宝として残し、気仙の船大工による卓越した建造技術・技能と文化を後世に伝えることや利活用による観光誘客を目的としていることから、市の政策に直結する事業であり、市の支援が必要である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	▽ 理由・内容 千石船「気仙丸」を歴史的価値のある地域の宝として残し、気仙の船大工による卓越した建造技術・技能と文化を後世に伝えることや利活用による観光誘客を目的としていることから、対象・意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	▽ 理由・内容 建造技術の伝承や誘客のための効果的な取組により、成果の向上の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	▽ 理由・内容 事業を廃止・休止した場合、千石船「気仙丸」の管理運営ができなくなる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	▽ 理由・内容 市の政策に直結する事業であり、事業費の削減余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	▽ 理由・内容 千石船「気仙丸」利活用推進協議会への負担金の支出やワーキング・グループ会議への参画等、必要最小限の事務であり、人件費の削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	▽ 理由・内容 誰もがみれる形で陸上展示しており、受益機会は公平・公正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
2 改革改善(縮小・統合含む)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×	陸上展示後、主に認知度を高める取組により、視察の受入れが増えてきている。今後は、認知度向上に加え、中心市街地にある観光資源として有効活用が図られるよう、旅行会社にツアーコースへの組み入れを提案するなど誘客につながる取組を積極的に行っていく必要がある。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		●																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
2 改革改善(縮小・統合含む)	市の中心市街地へ陸上展示を行っており、利活用推進協議会において知名度を高めるための取組が行われているが、今後も市の観光資源として有効活用が図られるよう取組を継続していく必要がある。